

日本学校教育相談学会

THE JAPANESE ASSOCIATION OF SCHOOL COUNSELING AND GUIDANCE

栃木支部会報 2004.09.01

NO. 1

- 日本学校教育相談学会栃木支部理事長挨拶 丸山 隆先生
- 「日本学校教育相談学会会長に就任して」 日野 宜千先生
- 平成16年度日本学校教育相談学会栃木支部総会
- 記念講演 演題 「日本におけるカウンセリングの流れと展望」 杉溪 一言先生
- 記念講演受講者の感想
- 日本学校教育相談学会 サマーワークショップ「学校教育相談基礎講座」
- 学校教育相談基礎講座 Session 8「学校カウンセリングの実際問題」 馬場 友治先生
- 栃木県教育研究所の研修講座終了後に日本学校教育相談学会へ入会された方の感想 坂本 恵美子先生
- 栃木支部よりのお知らせ
- 研修資料①、②

○ 日本学校教育相談学会栃木支部理事長挨拶

学会栃木支部が活動するようになってもう何年になるだろうか。栃木県は以前からカウンセリングや学校教育相談活動が大変盛んで、学会が全国的に組織されたときも、中核県の一つになった。支部会員数も約300名にのぼり、前理事長、日野宜千氏を全国の学会長にも送り出している。

こうした状況を踏まえ、今回、支部活動をより活発なものにすべく『会報』を発行することになった。会員諸氏に活動内容の周知を図り、また、会員の声を組織に反映させるよう、意図してのことである。

新進気鋭の藤浪直紀氏に広報担当理事をお願いした。『会報』を媒介に、支部活動がより身近で充実したものにできれば幸いである。

丸山 隆先生

○ 「日本学校教育相談学会会長に就任して」

昨年8月の福岡で行われた第15回総会で、日本学校教育相談学会会長に推され、栃木県理事長を丸山先生にバトンタッチし、小泉英二先生、今井五郎先生についての3代目会長に就任しました。

3代目というのは、中興の祖といわれるような傑出した人物か、「売り家と唐風で書く3代目」といったどうしようもない人物か、評価(?)の別れる所です。

日本学校教育相談学会はもともと東京都立教育研究所を中心とした、全国の総合教育センターや教育研究所の管理職が中心となった学会です。栃木県の民間の教育研究所のものになるのはどうしたことなのか、なった本人が驚いている次第です。

当初50名程度で始まった会も16年たち3000人を越す大所帯になりました。そのリーダーですから気が重くなります。

しかし、なった以上はそれなりのことをしなければならず、会費の値上げや事務の合理化等、学会の足腰の強化とともに、長年の懸案だった学会独自の「学校教育」のナショナルスタンダードの設定や、他学会と協力して文部科学省に働きかけて、「教育相談主事」や「教育相談教諭」とでも言うべき、我が国の学校教育相談の改革までも手掛けて行こうと思っているのです。

できるかできないかはともかく、2年間の会長期間に一応の成果を上げるべく努力するつもりです。

栃木の仲間としてもぜひ応援してください。

日野 宜千先生

○ 平成16年度日本学校教育相談学会栃木支部総会

栃木支部役員

平成16年度

日本学校教育相談学会栃木支部総会と記念講演

記念講演

演題

「日本におけるカウンセリングの流れと展望」

講師

日本女子大学名誉教授

杉溪 一言先生

平成16年6月19日(土)に教育会館5階小ホールにおいて平成16年度日本学校教育相談学会栃木支部の総会と記念講演が行なわれました。

議事

- (1) 平成15年度事業報告
- (2) 平成15年度決算報告
- (3) 「会計監査」報告
- (4) 平成16年度事業計画案審議
- (5) 平成16年度予算案審議
- (6) 役員選出
- (7) その他

○ 記念講演

演題 「日本におけるカウンセリングの流れと展望」

講師 杉溪 一言先生

演台を退かし、椅子に腰掛けられた杉溪先生は、「今日は私の昔話(ライフレビュー・カウンセリング)を多くの皆さんに聴いてもらえて私は大変気持ちがいい。」「全身をお見せする事で皆さんとラポールが得られ親しく話が出れます。」と言われ講演が始まった。

「日本におけるカウンセリングの流れと展望」というテーマでわが国におけるカウンセリングの発展について、

(1) 現役員

県支部理事長 丸山 隆

理事 日野 宜千、川俣 幸雄、
毎澤 典子、伊澤 裕、
金子 賢、池田 清恵、
柴 一弥、高垣 孝子、
小川 正人

会計監査 長橋 恵美子

(2) 新役員

新理事 藤浪 直紀

新会計監査 笠原 光雄

(平成16年度栃木支部総会にて選出)



- ① カウンセリングが導入された頃の話
 - ② カウンセリングの諸理論が賑わった頃の話
 - ③ 近頃のカウンセリングの流れについて思うこと
- の3つに話を分けて日本にカウンセリングが導入された頃から現在に至るカウンセリングの流れを貴重なスライドと日本版「グロリアと3人のセラピスト」とも言える「佐治守夫先生の面接(クライアント中心療法)」と「国谷誠朗先生のゲシュタルト・ワーク(ゲシュタルト療法)」のビデオテープを交えて話された。

また、わが国のカウンセリングの課題と展望では、

- ①子育て支援と高齢者のケア
- ②家族カウンセリングの予防的活用
- ③ピア・カウンセラーの育成
- ④コラボレーションの活性化
- ⑤カウンセリングマインドの啓蒙・普及

を挙げカウンセリングには、1) 治すカウンセリング、2) 育てるカウンセリング、3) よりそうカウンセリング、4) つながるカウンセリングがあるがどのカウンセリングにもカウンセリングマインドが必要であると話された。最後に杉溪先生ご自身が経験を通して考えるカウンセリングマインドを分かりやすい言葉で紹介して下さった。



杉溪先生の「カウンセリングマインド10項目」

- ①一人ひとりを大切にする心
- ②ひとの痛みを感じる心
- ③待つ心
- ④可能性を拓く心
- ⑤柔らかい心
- ⑥向き合う心
- ⑦葛藤を生きる心
- ⑧クライアントに学ぶ心
- ⑨生涯学びつづける心
- ⑩ともに生きる心

杉溪先生は、各世代でのカウンセリングの動きや考え方を話して下さり、それぞれの時代で苦勞してきた先人の上に今日のカウンセリングの体系がある事を実感する内容でした。

(藤浪直紀 記)

○ 記念講演受講者の感想

日本のカウンセリングの草分け的存在の杉溪一言先生の講演をお聴きし、とても充実した時間を過ごさせていただきました。まず、日本におけるカウンセリングの夜明けから世間に認知され学問としてのみならず、実業界にも取り入れられ、その後各関連学会が設立されたことより、研究・実践が盛んになったのを聞伺い、今日の体系はそれぞれの時代に頑張ってきた先人達の苦勞の上にあることを切に感じました。

カウンセリング諸理論が賑わった頃の話では、クライアント中心療法で佐治守夫先生、ゲシュタルト療法では国谷誠朗先生のとても貴重なビデオを拝見しテクニックではなく、カウンセリングの「何か」が私の心に伝わってきたように思います。

我が国におけるカウンセリングの課題と展望、21世紀におけるカウンセリングの役割—カウンセラー自身に求められるもの—では、カウンセリング(治す・育てる・よりそう・つながる)、カウンセリングマインド10項目などで長年カウンセリングに携わってきた先生の信念と経験の重さが一言一言に感じ、これからのカウンセリングにおいての私達に対する責任を痛感し、より一層勉強に励んでいかなければと思いました。

(齋藤誠一郎 記)

○ 日本学校教育相談学会サマーワークショップ

「学校教育相談基礎講座」

主催 栃木県カウンセリング協会 栃木県カウンセリングセンター
日本学校教育相談学会栃木支部 ※合計の研修時間 18 時間
日時 平成 16 年 7 月 28 日 (水) ~ 30 日 (金)
場所 栃木県教育会館 大会議室
日程 9:20 10:50 11:00 12:30 13:30 16:30



7月28日(水)	Session 1		Session 2	昼食	Session 3
7月29日(木)	Session 4		Session 5	昼食	Session 6
7月30日(金)	Session 7		昼食	Session 8	Session 9

Session 1

「学校教育相談概論」

日野 宜千

栃木県カウンセリングセンター代表、臨床心理士

Session 2

「発達障害の理解と対応」

原田 浩司

南押原小学校教頭

学校カウンセラー

Session 3

「学校での保護者面接演習」

丸山 隆

栃木県教育研究所相談部長、臨床心理士

Session 4

「保健室のカウンセリングマインド」

池田 清恵

城山東小学校養護教諭、学校カウンセラー

Session 5

「問題行動の理解と指導」

小齋 哲也

那須町教育委員会指導主事、学校カウンセラー

Session 6

「構成的グループエンカウンター」

原田 浩司

矢板中学校教諭、学校カウンセラー

Session 7

「かかわり技法・傾聴技法」

金子 賢

教育心理研究所所長

臨床心理士

Session 8

「学校カウンセリングの実際問題」

馬場 友治

宇都宮文星女子高等学校教諭、学校カウンセラー

Session 9

「不登校の病理と対応」

毎澤 典子

戸祭小学校校長、学校カウンセラー

○ 学校教育相談基礎講座

Session 8

「学校カウンセリングの実際問題」

講師 馬場 友治先生 宇都宮文星女子高等学校

教育相談の仕事は不登校や教室に入れない生徒にもかかわりを持ちます。不登校などはどの子にも起こりうる問題です。学業や対人関係の悩み、あるいはストレスが要因となる場合も多く、その為不安が生じて腹痛や吐き気などさまざまな身体症状をおこしたり、学校に行けない、あるいは教室に入れないなどという行動面に現れてきます。さらに、病的要因や家庭環境に問題が生じている場合などもあり、さまざまな要因が複雑に絡み合っ

高校では多くの場合、学年制度が取り入れられており、単位習得ができない生徒は休学や退学など進退問題に大きくかかわってきます。これに対処するために、保護者や担任などが問題の解決をはかろうと熱心に取り組む努力を試みますが、あまり報われずに、心身ともに疲労してしまうケースも多々あります。ここにカウンセリング（傾聴）だけではどうしても対応できない問題が生じてきます。不登校や長く教室に入れない生徒などに対して誰がどのようにかかわっていくのがよいのか。単に居場所だけを提供しても一時的な解決策に過ぎず、生徒にとっては「他立」から「自立」するまでには至らず、学校側にとっても「保護」から「支援」するまでにはなかなか結びつかない場合もあり問題を生じています。

今回、「学校カウンセリングの実際問題」というテーマを頂き、高校における休学についての問題を教室に入れない生徒の3つの事例を含めて発表させて頂きました。教育相談のなかでカウンセリングのほかに生徒の環境調整をはかるためにケースワークを取り入れることがあります。この場合、生徒ばかりでなく、友人、保護者（家庭）、担任、養護教諭、学年、学校、あるいは必要に応じて専門機関などにもかかわってもらう場合があります。ケースワークについては次のようにとらえています。

- 1) 「社会関係に障害のある相談者の持つ問題を」
- 2) 「内的、外的資源との関係のなかで」
- 3) 「自己自ら解決することを側面的に援助することによって」
- 4) 「相談者と社会環境を向上し、改善し」
- 5) 「相談者の自己実現を目指す技術である」

つまり、長く教室に入れない生徒（相談者）と学校（社会関係）との関係に支障（障害）が生じた場合、長く教室に入れないということを問題（問題）としてとらえます。そしてその生徒の潜在的な能力や可能性（内的資源）を生かし、その能力を発揮する機会や環境に恵まれる（外的資源）ことで自己決定（自己自ら解決すること）ができるように側面的に援助し、家庭環境・学校環境など（社会環境）を向上・改善して、生徒が教室に入ること（自己実現）を目指すということです。



ケースワークは生徒の性格や心の内面よりも、その生徒が持つ（問題）に重きをおき援助の焦点をあてます。この場合、その生徒の理由が学校恐怖症であれば（問題）を学校恐怖症としてとらえます。ここで必要とされることは、社会環境の向上、つまり生徒を中心に保護者（家庭）と担任、学校のどちらか一方が抱え込むことのないように、お互いに連携し協力しながら生徒にかかわることが大切です。少なくとも、原因が学校、あるいは保護者（家庭）の責任と考えれば話は後退してしまいます。

また、ケースワークの特徴には自己決定権があります。生徒の潜在的な能力や可能性を引き出して、生徒が自ら進むべき道を決めることです。しかし、実際には「私は」という言葉で言語化して自分の気持ちを言える生徒は少なく、真面目で素直な性格のため、家庭や学校のなかではなかなか本音が言えず周囲に合わせる傾向が強く見られる生徒たちが大半です。言語化できないことでその影響は身体面や行動面に表出されてきます。このような生徒に自己決定権を望めば悪循環が生じることも予想されます。

子どもの権利条約の意見表明権（第12条第2項）には自己に「影響を与える行政的手続きにおいては本人（生徒）または代理人を通じて聴聞される機会が与えられる」と記されています。このような生徒の場合行政手続きは、学校においては居場所（保健室、図書館）の確保、中間・期末試験の受験場所、成績会議での申し立て、休学に対するの見解、復学の意志の表明などであり、生徒の表明した意見を誰が取りあげどのように取り扱いか大ききなと焦点となります。ここに高校における学校カウンセリングの大きな問題とその役割が見出せます。



本来学校カウンセリングとは生徒の心とからだに無理がないように（自己一致）、生徒の気持ちに関心を向けて信じること（共感的理解）、そしてその生徒が自分自身を好きになれるように（受容）援助することととらえています。否定的に自分を見ている生徒が肯定的に自分を見つめられるように援助し、限られた時間のなかで生徒自身が「自立」をはかる、そして周囲の関係者が連携をとり「支援」することで自らの進むべき道が見出せるようになれば、今を少しでも生きやすくなるのではないのでしょうか。

○ 栃木県教育研究所の研修講座終了後に

日本学校教育相談学会へ入会された方の感想

「さまざまな出会いの中で」 坂本 恵美子先生 作新学院高等学校

数年前、クラスの生徒が保健室登校になりました。私は暇を見つけては保健室に足繁く通いましたが、彼の心のうちを聞くこともなく一年を過ごしてしまったことがありました。それから、不登校の生徒を支援する係になり、何らかの原因で教室に入れない生徒と共に過ごすことになりました。リストカットなどは当たり前、拒食症、買い物依存症、そして、怠学による不登校……。一言では括れない不登校、その原因は人の顔と同じで一つ一つが違うのだと実感しました。

不登校セミナーの受講を経て、学校教育相談学会に入会したのは、生徒一人ひとりに向き合うための知識とスキルを身につけ、教育に携わる者として冷静な頭と温かな心をもった生徒のよき支援者になりたいと思ったからです。

○ 栃木支部よりのお知らせ

①日本学校教育相談学会への入会について

日野・丸山両先生のご尽力により昨年度から栃木県教育研究所主催の研修講座「学校カウンセリング特別セミナー」「不登校セミナー」「個人面接の技法」の三講座のいずれかを終了した方々にも日本学校教育相談学会への入会の資格として認められるようになりました。これから入会を希望される方々に広報をよろしく願いいたします。

②学会認定資格「学校カウンセラー」取得を目指す会員の皆さんへ

日本学校教育相談学会の認定資格「学校カウンセラー」（入会后2年、所定の研修を受けていることなどの条件を満たしている場合）の取得を目指す会員の方をサポートする栃木支部の活動は「学校教育相談基礎講座」（7/28～30 合計18時間の研修）と「第11回支部研究発表大会」（10/2 研究発表のポイント）などの年間事業計画によりサポートしています。

※ 16年度栃木県教育研究所研修講座の日程と16年度栃木支部事業予定を資料として載せておきました。入会希望の方や資格取得を目指す方にお知らせいただければと思います。

③日本学校教育相談学会栃木支部会報について

今年度より「日本学校教育相談学会栃木支部会報を年2回発行していこう」という試みで本誌が製作されました。つきましては、栃木支部関連の講座や研修の際に記事や感想などの原稿の依頼をお願いすることがありましたらご協力のほどよろしくお願いいたします。今後は栃木支部に広報委員会を作り会報の「読みやすさ」や「内容の充実」を図っていきたいと考えています。

日本学校教育相談学会栃木支部

〒320-0066 宇都宮市駒生 1-1-6 教育会館内
栃木県教育研究所相談部 日本学校教育相談学会事務局宛

TEL・FAX 028-647-5682
(発行責任者 丸山 隆 / 広報担当者 藤浪 直紀)

【研修資料①】

「平成16年度 栃木県教育研究所研修講座」年間予定

月	学校カウンセリング特別セミナー 12回	不登校セミナー 8回	個人面接の技法 9回 養護教諭・教育相談係・心の教室相談員のための講座
4 5			
6	5(土)(13:30~16:00) 学校心理学概論 柴一弥 教育会館(大会議室)		
	19(土)カウンセリング特別講座(13:30~16:00)「日本におけるカウンセリングの流れと展望」 日本女子大学名誉教授 杉溪一言 教育会館5F(小ホール) ※三講座合同開校式(16:20~)		
7	10(土)(13:30~16:00) 思春期発達心理学 伊達悦子 教育会館(大会議室)		3(土)(10:00~12:30) 相談室登校を考える(相談室から教室へ) 日野宜千 教育会館(大会議室)
	21(水)~22(木) 宿泊研修10:00~翌日12:30 学校心理学演習<1>グループ体験 丸山隆 ホテルたかはら	22(木)(10:00~12:30)(13:30~16:00) 「不登校」演習<1日> 日野宜千 教育会館(大会議室)	3(土)(13:30~16:00) 発達障害のアセスメント 毎澤典子 教育会館(大会議室)
8			1(日)~2(月) 宿泊研修10:00~翌日正午 相談室でできる描画 相馬誠一 ホテルたかはら
9	4(土)~5(日) 宿泊研修13:00~翌日正午 学校心理学演習<2>箱庭療法 相馬誠一 ホテルたかはら	25(土)(10:00~12:30) さまざまな「不登校」 堀内聡 教育会館(大会議室)	25(土)(10:00~12:30) 「風景構成法」によるアセスメント 鈴木友之 教育会館(中会議室)
10	2(土)(13:30~16:00) 学校教育相談と集団理解 金子賢 教育会館(大会議室)	9(土)~10(日) 宿泊研修14:00~翌日正午 訪問面接の実際 金沢純三 ホテルたかはら	
	23(土)(13:30~16:00) 学校臨床心理学 秋場博 教育会館(中会議室)		16(土)~17(日) 宿泊研修13:00~翌日正午 相談室で使う交流分析 柴崎武宏 ホテルたかはら
11	6(土)(10:00~12:30)(13:30~16:00) カウンセリング心理学<I>×<II> 日野宜千 教育会館(大会議室)	6(土)(13:30~16:00) 事例研究 永森朋子 教育会館(中会議室)	
12	4(土)カウンセリング特別講座(10:00~12:30)「家族療法の理論と実際」 神戸松蔭女子学院女子学院大学人間科学部 教授 東豊 教育会館5F(小ホール)		
1	15(土)~16(日) 宿泊研修13:00~翌日正午 学校心理学演習<3>交流分析 柴崎武宏 ホテルたかはら	6(土)(13:30~16:00) 「不登校」指導援助の実際 丸山隆 教育会館(大会議室)	6(土)(10:00~12:30) 相談室で使う心理劇 丸山隆 教育会館(大会議室)
2	5(土)精神医学特別講座(13:30~16:00)「思春期の精神病理」 武蔵野大学人間関係学部助教授 辻恵介 教育会館5F(小ホール) ※三講座合同終了式(16:20~)		

※ 2/3以上の出席がないと修了とは認められません。また、講座によっては「修了レポート」が必要になる講座もあります。

※ 日本学校教育相談学会への入会には「宿泊の研修」が必要となります。この研修を欠席すると入会が出来なくなる可能性がありますのでご注意ください。

【研修資料②】

平成 16 年度日本学校教育相談学会栃木支部事業年間予定

開催期日	事業名	会場	備考
6月19日(土)	【第13回総会】 講演「日本におけるカウンセリングの流れと展望」 講師 杉溪 一言先生	栃木県教育会館	杉溪 一言先生 日本女子大 名誉教授
7月28日(水) 29日(木) 30日(金)	【学会研修プログラムによる】 「学校教育相談基礎講座」 講師 日野 宜千先生他	栃木県教育会館 大会議室	日野 宜千先生 栃木県カウンセリング センター代表
8月5日(木) 6日(金) 7日(土)	【日本学校教育相談学会】中央大会 講演「私を助けて！～家庭内暴力～」 ～即興劇で考える事例研究～	山梨県甲府市 山梨学院大学	丸山 隆先生 栃木ロールプレイング 研究会
10月2日(土)	【月例研修会】 「第11回支部研究発表大会」 コメンテーター 毎澤 典子先生	栃木県教育会館 小会議室	毎澤 典子先生 戸祭小学校 校長
11月13日(土) 14日(日)	【ワークショップ】 講演「非行少年の心理とその対応～事例検討を含めて～」 講師 今村 洋子先生	鬼怒川温泉ホテル たかはら	今村 洋子先生 前横浜少年鑑別所 所長
12月4日(土)	【カウンセリング特別講座・合同研修会】 講演「家族療法の理論と実際」 講師 東 豊先生	栃木県教育会館 小ホール	東 豊先生 神戸松蔭女子学院 大学教授
1月8日(木) 9日(金) 10日(土)	【日本学校教育相談学会・中央研修会】 未 定	未 定	未 定
1月22日(土)	【月例研修会】 講演「軽度発達障害児への対応」 講師 小黒 範子先生	栃木県教育会館 中会議室	小黒 範子先生 栃木リハビリセンター 相談検査科 兼医療部医務科長
2月5日(土)	【精神医学特別講座】 講演「思春期の精神病理」 講師 辻 恵介先生	栃木県教育会館 小ホール	辻 恵介先生 武蔵野大学 助教授

日本学校教育相談学会栃木支部協賛研修会年間予定

8月10日(日) ～12日(木)	【カウンセリング学会合同研修会】 第39回カウンセリング 研修会(栃木県大会)	鬼怒川 グリーンパレス	
11月7日(日)	【心の会議】 未 定	栃木県総合教育 センター	未 定